

教育

- 月 暮らし
- 火 科学・シニア
- 水 文化・こだま
- 木 暮らし・健康・学芸
- 金 文化・エンタメ
- 土 暮らし・こだま
- 日

中国語審査 世界大会へ

中高生が中国語のスピーチ力などを競う第11回漢語橋世界中国語コンテストの西日本地区予選大会が神戸市で開かれ、敦賀気比高3年の谷口巴菜さんと足羽2年の永原黎太郎さんが1等賞に輝いた。2人は10月に中国で開かれる世界大会に出場する。

同コンテストは中国政府などが開き、▽スピーチ発

谷口さん(敦賀気比高3)

永原さん(足羽高2)



入賞した敦賀気比高と足羽高の生徒たち＝神戸市の中華会館東亜ホール

西日本予選で1等

表▽中国文化技芸の披露▽中国に関する知識の筆記試験の3部門で審査する。

谷口さんは、県の中国語学研修で3月に上海を訪れた経験をもとにスピーチ。

が、百聞は一見にしかずだと伝えたい」と語った。

永原さんも、3月の県の中国語学研修に参加し、さまざまな国の仲間と交流したことに触れながら「語学を通し、心と世界の扉を開くことができた。これから中国語をもっと勉強し、日中交流の懸け橋になりたい」と語った。中国ごまごま中国武術の「棍」のパフォーマンスも披露した。

このほか、2等賞に仙石絵莉香さん(敦賀気比高3年)、3等賞に明石実巳さん(同2年)と齋藤ももさん(同3年)が入賞した。また、足羽高で長年、中国語を指導し、同コンテストで過去9回、世界大会に同校生徒を送り出している青山恭子教諭(55)に対し、中国駐大阪総領事館から感謝状が贈られた。

同コンテストは3部門で高いレベルが求められることから年々出場者は少なくなり、今回は県内2校の5人のみだった。(宇野和宏)